

6.16 海域生態系

6.16.1 調査

(1) 調査の概要

1) 現地調査

現地調査の概要は表-6.16.1に、調査方法は表-6.16.2に、調査位置は図-6.16.1に示すとおりです。

表-6.16.1 海域生態系に係る現地調査の概要

調査項目		調査位置	調査時期
生物多様性の観点からみた主要生物群の種リスト及び希少性	インベントリー調査	図-6.16.1に示す42地点（海域28地点、潮間帯14地点）	令和3年5月3日～28日（春季） 令和3年8月16日～9月3日、9月10日～15日（夏季） 令和3年10月2日～27日（秋季） 令和3年12月2日～22日（冬季）

表-6.16.2 海域生態系の現地調査の調査方法

調査項目	調査方法
インベントリー調査	標本・写真記録等を含めた同定作業に基づく生物種の目録作成を行いました。この調査の対象生物群は大型底生動物（貝類、甲殻類、棘皮類等）、魚類、サンゴ類及び海藻草類とします。 なお、T5～8とI1～10では、重要な種を対象に1回調査を行いました。

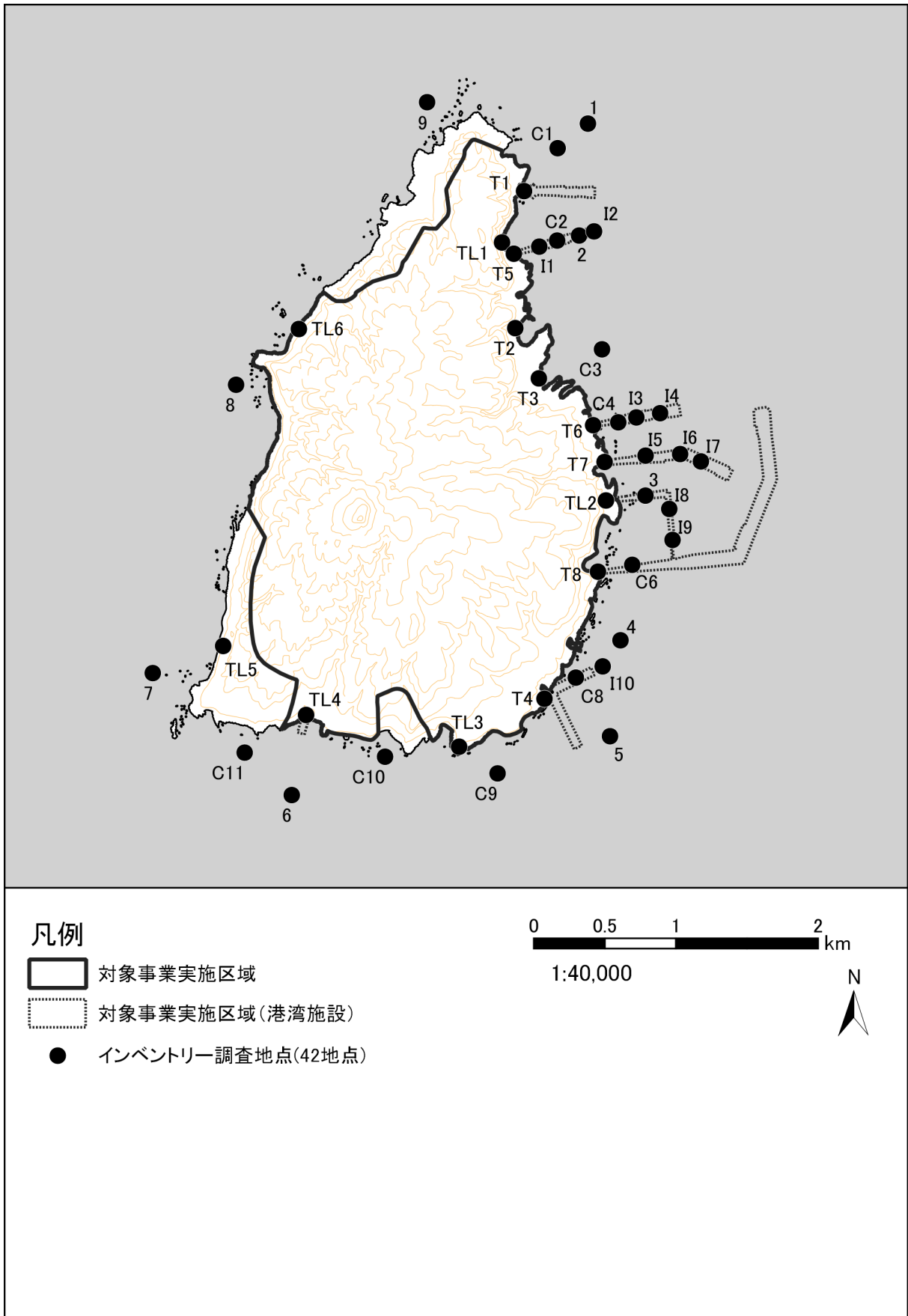


図-6.16.1 インベントリー調査地点

(2) 調査結果

1) 海域生物その他の自然環境に係る概況

(a) 海域生物の概況

動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生動物、魚類、潮間帯生物及びサンゴ類及びウミガメ類についての調査結果は「6.12 海域動物」に、海藻草類についての調査結果は「6.14 海域植物」に、それぞれ示したとおりです。

(b) その他の自然環境に係る概況

a) 地形（水深）と海底基質

海域と潮間帯の調査測線の断面模式図は資料編に示します。

海岸部については、島の東側は主に岩礁帯や礫浜、南側と西側は主に岩礁帯や礫浜、砂浜からなります。

海域については、島の東側では比較的緩やかな傾斜で、水深 20m 帯が 500m～1km 程度沖合に位置します。底質は主に岩盤、巨礫、大礫、砂質の割合が高く、水深 20m 以深では砂質が高い割合です。島の南側は緩やかな傾斜で、水深 20m 帯が 2km 程度沖合に位置します。底質は岩盤、転石、巨礫が高い割合です。島の西側は傾斜が比較的強く、水深 20m 帯は 300～500m 程度沖合に位置します。底質は岩盤、転石、巨礫が高い割合です。

b) 自然的人為的影響による時間的変化等

過去の写真から推定される砂浜の分布状況を図-6.16.2に示します。島の西側と南側の砂浜は 1947 年から確認されており、現在と大きな変化はみられません。島の東側には、1947 年から 2006 年においても明瞭な砂浜は確認されません。